取扱説明書

FlexScan®
T1751

タッチパネル装着
カラー液晶モニター

重要

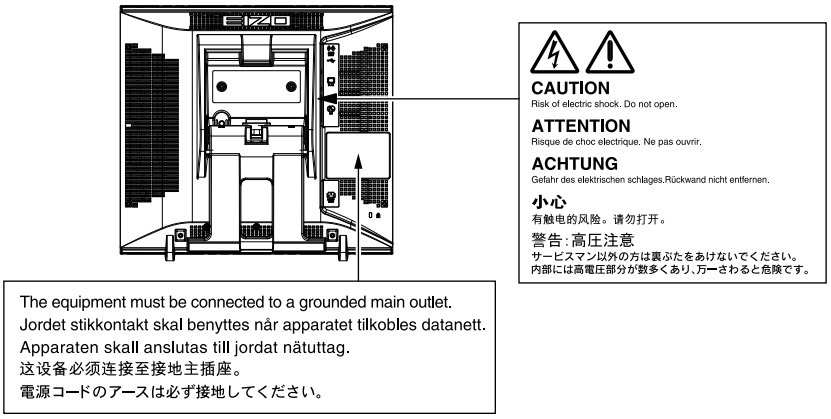
ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータとの接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社の Web サイトからダウンロードできます。
  http://www.eizo.co.jp

EIZO®

警告表示位置

LaidBack Stand（レイドバックスタンド）例



【本体に使われている記号】

記　号	意　味
⏻	電源ボタン 本機の電源をオンまたはオフにします。
～	交流
⚠	危険警告・感電
⚠	注意 使用上の注意内、「絵表示について」参照

製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1.本書の著作権は EIZO 株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部を EIZO 株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

本製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途の他、端末機器操作などの各種専用用途に適しています。
本製品を筐体組み込みなどで使用する場合は当社コンタクトセンターにお問い合わせください。

本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

本製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）」参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は 99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店または EIZO サポートにお問い合わせください。

パネルを固い物や先の尖った物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

本製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。
- パネル面とパネルの外枠との間に、液体が入らないように注意してください。

参考

- パネル面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナ紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

キャビネット

- 柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休憩を取ってください。

目次

表紙 1

モニターについて 3

目次 5

第 1 章　はじめに 7

1 - 1.　特長 7

1 - 2.　各部の名称と機能 8

● スタンドの設置について（LaidBack Stand）....9

● スタンド収納方法について（LaidBack Stand）...9

1 - 3.　EIZO LCD ユーティリティディスクについて .10

● ディスクの内容と概要 10

● タッチパネルドライバ / キャリブレーションユーティリティを使用するときは..... 10

1 - 4.　基本操作と機能一覧 11

● 調整メニューの基本操作方法 11

● 機能一覧 12

第 2 章　画面を調整する 13

2 - 1.　表示解像度 13

アナログ信号（D-Sub）入力時 13

デジタル信号（DVI-D）入力時 13

2 - 2.　解像度を設定する 14

Windows 7 の場合 14

Windows Vista の場合 14

2 - 3.　画面を正しく表示する 15

● デジタル信号入力の場合 15

● アナログ信号入力の場合 15

2 - 4.　カラー調整をする 19

● 表示モード（FineContrast（ファインコントラスト）モード）を選択する 19

● 詳細な調整をする 19

● 各モードの調整項目 19

● ブライトネス（明るさ）を調整する＜ブライトネス＞ 20

● コントラストを調整する＜コントラスト＞... 20

● 色温度を調整する＜色温度＞ 21

● ゲインを調整する＜ゲイン＞ 21

第 3 章　モニターの設定をする 22

3 - 1.　音量を調整する＜音量＞ 22

3 - 2.　調整メニューの位置を変更する＜メニューポジション＞ 22

3 - 3.　操作ボタンをロックする 22

● 調整メニューでの調整 / 設定をロックする ... 22

● すべての操作をロックする 22

3 - 4.　EIZO ロゴ表示を設定する 23

3 - 5.　表示言語を設定する＜言語選択＞ 23

3 - 6.　DDC/CI 通信の有効 / 無効を設定する 23

3 - 7.　初期設定に戻す＜リセット＞ 24

● カラー調整値をリセットする 24

● 全ての設定内容をリセットする 24

第 4 章　省電力機能について 25

4 - 1.　省電力モードについて 25

4 - 2.　電源ランプの表示を設定する＜電源ランプ＞ 25

4 - 3.　モニターの自動明るさ調整の設定をする「Auto EcoView」 26

4 - 4.　インジケータを表示する「EcoView Index」..26

4 - 5.　モニターの自動電源切断機能の設定をする＜オフタイマー＞ 27

第 5 章　接続する 28

5 - 1.　複数のコンピュータを接続する 28

● 入力信号を切り替える 28

● 入力信号の切替方法を設定する＜入力信号＞ 29

第 6 章　こんなときは 30

第 7 章　ご参考に 34

7 - 1.　オプションアーム取付方法 34

7 - 2.　モニター情報を表示する＜インフォメーション＞ 35

7 - 3.　仕様 36

7 - 4.　用語集 39

7 - 5.　プリセットタイミング 41

付録 42
商標 42
VCCI 43
医療規格 43
その他規格 43
中国 RoHS 44
アフターサービス 45

第 1 章　はじめに

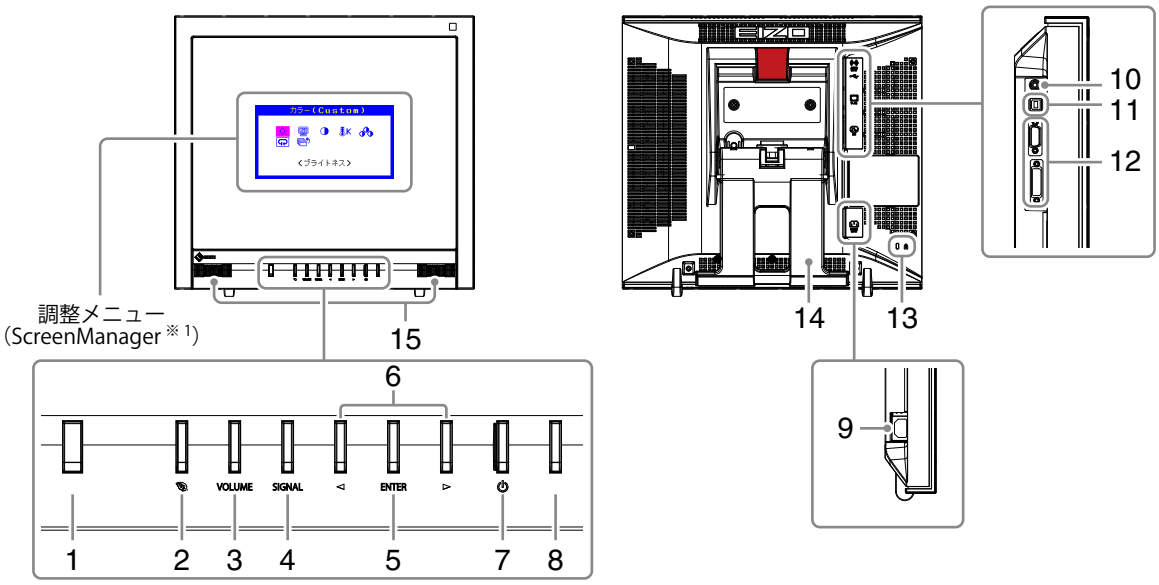
このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1 - 1. 特長

- 17 型画面
- 解像度 1280 × 1024 対応
- タッチパネル標準装備
  - 赤外線光学イメージング方式を採用
    Microsoft Windows 7 の Windows タッチ機能（マルチタッチ）に対応しています。
    * この製品は 2 点までのマルチタッチに対応しています。
- 高コントラスト比（1500：1）のパネルを採用
  メリハリのある画像表示を実現します。
- VAパネルによる上下左右 89°の広視野角を実現
- FineContrast（ファインコントラスト）機能を搭載し、表示画像に適した表示モードを選択可能
  「表示モード（FineContrast（ファインコントラスト）モード）を選択する」（P.19）参照
- LaidBack Stand（レイドバックスタンド）により幅広いチルト角度をワンタッチで調整可能
  本を読むような角度で使用できます。
  また、タッチ操作時にも画面が揺れない設計となっています。
- 電源管理ソフトウェア「EIZO EcoView NET」対応
  詳細は、当社の Web サイト（http://www.eizo.co.jp）を参照してください。
- 著作権保護技術 HDCP対応
- ステレオスピーカー装備
  「1 - 2. 各部の名称と機能」（P.8）参照
- 省電力機能
  消費電力を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。
  この製品は省電力のため様々な機能を搭載しています。
  - Auto EcoView 機能
    モニター正面のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
    不必要に高い輝度は、環境にも目にも負荷を与えます。輝度を抑えることにより、消費電力の削減と、目への負担を軽減します。
    「4 - 3. モニターの自動明るさ調整の設定をする「Auto EcoView」」（P.26）参照
  - EcoView Index 機能搭載
    モニターの輝度に応じた省電力の度合いと、電力削減量、CO2 削減量を表示します。
    省電力の度合いを意識することで、消費電力の削減につながります。
    「4 - 4. インジケータを表示する「EcoView Index」」（P.26）参照

1 - 2. 各部の名称と機能

LaidBack Stand（レイドバックスタンド）例

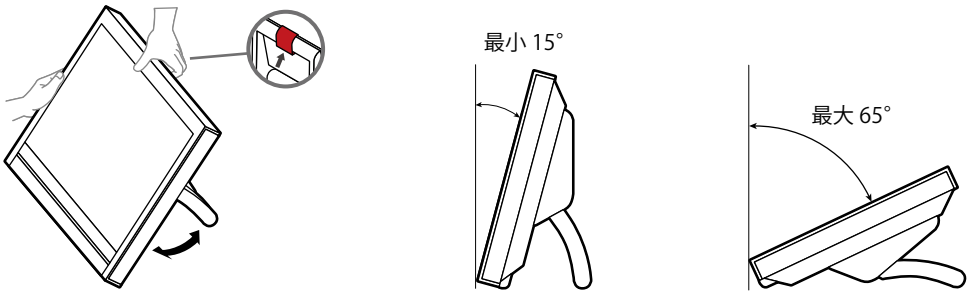


1. Auto EcoView センサー	周囲の明るさを検知します。Auto EcoView（オートエコビュー）機能（P.26）
2. ボタン	省電力機能（Auto EcoView、EcoView Index（エコビューインデックス））の設定画面を表示します（P.26）。
3. VOLUME ボタン	音量の調整画面を表示します（P.22）。
4. SIGNAL ボタン	表示する入力信号を切り替えます（P.28）。
5. ENTER ボタン	調整メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します（P.11）。
6. ◄ ► ボタン	• 調整メニューを使って詳細な調整をする場合に、調整項目を選択したり、調整値を増減します。 • ブライトネス（明るさ）調整画面を表示します。
7. ⏻ ボタン	電源のオン / オフを切り替えます。
8. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青：　画面表示 橙：　省電力モード 消灯：　電源オフ
9. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
10. ステレオミニジャック	ステレオミニジャックケーブルを接続します。
11. USB ポート（UP）	タッチパネルモニターとして使用する場合に USB ケーブルを接続します。
12. 信号入力コネクタ	上：D-Sub15 ピン（ミニ）コネクタ / 下：DVI-D コネクタ
13. 盗難防止用ロック	Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
14. スタンド※2, 3	角度が調整できます。
15. スピーカー	音声を再生します。

※1 ScreenManager は当社調整メニューのニックネームです。使用方法は、P.11 を参照してください。
※2 設置時には「スタンドの設置について（LaidBack Stand）」（P.9）を参照してください。
※3 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります（「7 - 1. オプションアーム取付方法」（P.34）参照）。

● **スタンドの設置について（LaidBack Stand）**

この製品は 15°/25°/35°/45°/55°/65°の角度に調整できます。



⚠ 注意

梱包時の状態では使用しないでください。

梱包時は折りたたまれた状態になっています。そのまま使用するとモニターが不安定なため、倒れたりしてけがや故障の原因となります。使用時には 15°以上に開いて設置してください。

● **スタンド収納方法について（LaidBack Stand）**

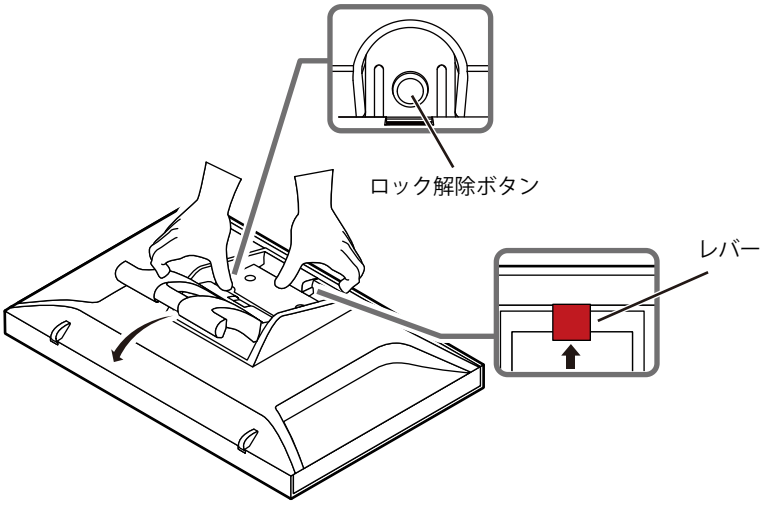
モニターを再梱包する場合は、次の手順でスタンドを収納してください。

1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. レバーを上に押し上げて、スタンドを最小 15°の角度まで倒します。

3. レバーを上に押し上げた状態でロック解除ボタンを押します。

スタンドが折りたたまれ、梱包時の状態になります。



1 - 3. EIZO LCD ユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCD ユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、タッチパネル用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readmeja.txt を参照してください。

内容	概要	Windows	Macintosh
Readmeja.txt ファイル		○	○
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。	○	○
タッチパネルドライバ	タッチパネルのドライバです。	○	-
キャリブレーションユーティリティ	タッチ位置を補正するユーティリティです。	○	-
モニターの取扱説明書（PDF ファイル）		○	○
タッチパネルドライバ / キャリブレーションユーティリティのインストールガイド（PDF ファイル）		○	-

● タッチパネルドライバ / キャリブレーションユーティリティを使用するときは

タッチパネルドライバ / キャリブレーションユーティリティの動作条件やインストール方法、使用方法については、ディスク内のインストールガイドを参照してください。
最新のソフトウェアおよびインストールガイドは、当社の Web サイトからダウンロードできます。
http://www.eizo.co.jp

1 - 4. 基本操作と機能一覧

● 調整メニューの基本操作方法

1. 調整メニューの表示

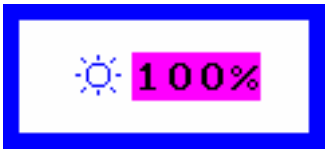
1. ENTER を押し、調整メニューを表示します。

デジタル信号入力時

2. 調整 / 設定

1. ◀ または ▶ で、調整 / 設定したいメニューを選択し、ENTER を押します。サブメニューが表示されます。

2. ◀ または ▶ で、調整 / 設定したい項目を選択し、ENTER を押します。調整 /設定メニューが表示されます。



3. ◀ または ▶ で、調整 / 設定し、ENTER を押して確定します。

3. 終了

1. サブメニューで<リターン>を選択し、ENTER を押します。メインメニューが表示されます。
2. メインメニューで<メニューオフ>を選択し、ENTER を押します。調整メニューが終了します。

参考

・ENTER をすばやく続けて 2 回押しても調整メニューを終了させることができます。

● 機能一覧

調整メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目	参照先
自動調整※1	ピクチャー調整	「2 - 3. 画面を正しく表示する」（P.15）
	レンジ調整	
ピクチャー調整	クロック※1	
	フェーズ※1	
	水平ポジション※1	
	垂直ポジション※1	
	スムージング	
	リターン	
カラー※2	ブライトネス	「2 - 4. カラー調整をする」（P.19）
	カラーモード	
	コントラスト	
	K色温度	
	ゲイン	
	リセット	「カラー調整値をリセットする」（P.24）
その他	入力信号	「入力信号の切替方法を設定する＜入力信号＞」（P.29）
	オフタイマー	「4 - 5. モニターの自動電源切断機能の設定をする＜オフタイマー＞」（P.27）
	メニューポジション	「3 - 2. 調整メニューの位置を変更する＜メニューポジション＞」（P.22）
	電源ランプ	「4 - 2. 電源ランプの表示を設定する＜電源ランプ＞」（P.25）
	リセット	「全ての設定内容をリセットする」（P.24）
インフォメーション		「7 - 2. モニター情報を表示する＜インフォメーション＞」（P.35）
言語選択		「3 - 5. 表示言語を設定する＜言語選択＞」（P.23）

※1 アナログ信号入力の場合のみ。
※2 ＜カラー＞で調整 / 設定できる機能はモードにより異なります。

第 2 章　画面を調整する

2 - 1. 表示解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

アナログ信号（D-Sub）入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640 × 480	VGA, VESA	～ 75 Hz	135 MHz（Max.）
720 × 400	VGA TEXT	70 Hz	
800 × 600	VESA	～ 75 Hz	
1024 × 768	VESA	～ 75 Hz	
1152 × 864	VESA	75 Hz	
1280 × 960	VESA	60 Hz	
1280 × 1024 ※	VESA	～ 75 Hz	

デジタル信号（DVI-D）入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640 × 480	VGA	60 Hz	108 MHz（Max.）
720 × 400	VGA TEXT	70 Hz	
800 × 600	VESA	60 Hz	
1024 × 768	VESA	60 Hz	
1280 × 1024 ※	VESA	60 Hz	

VESA 規格に準拠したグラフィックスボードが必要です。
※推奨解像度です。

2 - 2. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

Windows 7 の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
3. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
4. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、［OK］ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、［変更を維持する］ボタンをクリックします。

Windows Vista の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、［OK］ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、［はい］ボタンをクリックします。

2 - 3. 画面を正しく表示する

● デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、文字や線がぼやけている場合は、「6. 文字や線のぼやけを直します。」（P.18）にお進みください。
さらに詳細な調整をおこなう場合は「2 - 4. カラー調整をする」（P.19）以降を参照してください。

● アナログ信号入力の場合

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。
- 垂直解像度が 480 以下の信号ではセルフアジャスト機能は働きません。
- セルフアジャスト機能 / 自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
  - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
  - 壁紙など背景を黒で使用している場合
  また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

参考

- 次の場合にセルフアジャスト機能が働きます。
  - モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、次の設定手順に従って画面の調整をしてください。

設定手順

1. 自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する＜ピクチャー調整＞

設定方法

1. 調整メニューの＜自動調整＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜自動調整＞で＜ピクチャー調整＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜自動調整＞が表示されます。
3. ◀ または ▶ で「実行」を選択して、ENTER を押します。
   自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく設定されます。

「1. 自動調整をします。」(P.15)を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」（P.18）にお進みください。

2. アナログ画面調整用のパターンを準備します。

「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整パターン集」を開きます。

参考

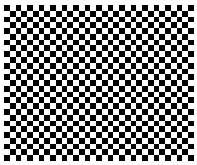
・「画面調整パターン集」の開き方および内容については、Readmeja.txt ファイルを参照してください。

3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき・表示位置・サイズを自動調整する＜ピクチャー調整＞

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン 1 を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの＜自動調整＞を選択し、ENTER を押します。
3. ＜自動調整＞で＜ピクチャー調整＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜自動調整＞が表示されます。
4. ◀ または ▶ で「実行」を選択して、ENTER を押します。
   自動調整機能が働き、画面のちらつき・表示位置・サイズが正しく設定されます。

「3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。」（P.16）を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」（P.18）にお進みください。

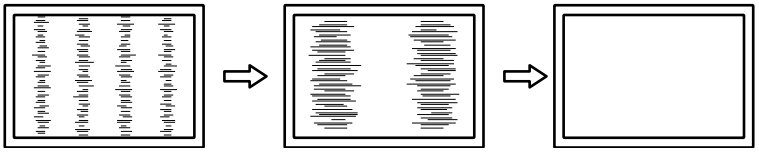
4. 調整メニューの＜ピクチャー調整＞で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す＜クロック＞

設定方法

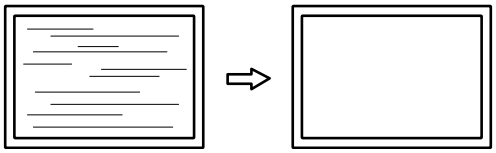
1. ＜ピクチャー調整＞で＜クロック＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜クロック＞が表示されます。
2. ◀ または ▶ で縦縞が消えるように設定します。
   設定が合ったポイントを見逃しやすいので ◀▶ をゆっくり押して設定するようにしてください。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。
   設定後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる＜フェーズ＞」に進み設定をおこなってください。



ちらつきやにじみをとる＜フェーズ＞

設定方法

1. ＜ピクチャー調整＞で＜フェーズ＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜フェーズ＞が表示されます。
2. ◀ または ▶ で最もちらつきやにじみのない画面に設定します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。
   設定後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す＜クロック＞」に戻り、再度設定をおこなってください。
   （クロック→フェーズ→ポジション）



注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

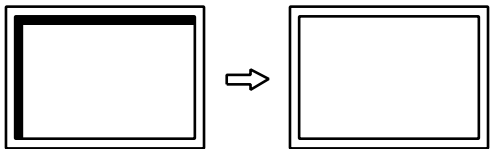
表示位置のずれを直す＜水平ポジション＞＜垂直ポジション＞

参考

- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は 1 箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

1. ＜ピクチャー調整＞で＜水平ポジション＞または＜垂直ポジション＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜水平ポジション＞または＜垂直ポジション＞が表示されます。
2. 画像の位置が合うように ◀ または ▶ で設定します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。



4. パターン 1 を閉じます。

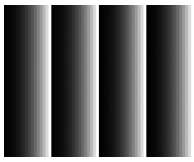
5. 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する＜レンジ調整＞

信号の出力レベルを調整し、全ての色階調（0 ～ 255）を表示できるように調整できます。

設定方法

1.「画面調整パターン集」のパターン 2 を画面全体に表示します。



2. 調整メニューの＜自動調整＞を選択し、ENTER を押します。
3. ＜自動調整＞で＜レンジ調整＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜レンジ調整＞が表示されます。
4. ◄ または ► で「実行」を選択して、ENTER を押します。
   出力レンジが自動的に設定されます。
5. パターン 2 を閉じます。

6. 文字や線のぼやけを直します。

● 文字や線のぼやけを直す＜スムージング＞

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

注意点

- 表示解像度によってはスムージングの設定をする必要はありません。（スムージングアイコンを選択することはできません。）

設定範囲

1 ～ 5

設定方法

1. 調整メニューの＜ピクチャー調整＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜ピクチャー調整＞で＜スムージング＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜スムージング＞が表示されます。
3. ◄ または ► で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

2-4. カラー調整をする

● 表示モード（FineContrast（ファインコントラスト）モード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード	目的
Custom	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。
EyeCare	他のモードに比べて、画面の明るさを低く設定することができます。
sRGB	sRGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Text	文書作成や表計算などの文字表示に適しています。

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜カラー＞で＜カラーモード＞を選択し、ENTER を押します。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

● 詳細な調整をする

調整メニューの＜カラー＞で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください（「色階調を自動調整する＜レンジ調整＞」（P.18）参照）。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「%」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整 / 設定できない機能は選択できません。）
○：調整可　—：調整不可

アイコン	機能名	FineContrast モード			
		Custom	EyeCare	sRGB	Text
	ブライトネス	○	○	○	○
	コントラスト	○	—	—	○
K	色温度	○	○	—	○
	ゲイン	○	○	—	—
	リセット	○	○	○	○

● ブライトネス（明るさ）を調整する＜ブライトネス＞

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0 ～ 100%

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜カラー＞で＜ブライトネス＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜ブライトネス＞が表示されます。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- ◀ ▶ で調整することもできます。（「1 - 2. 各部の名称と機能」（P.8）参照）
- ブライトネスが 0%でも画面が明るいと感じた場合、または 100% でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。

● コントラストを調整する＜コントラスト＞

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0 ～ 100%

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜カラー＞で＜コントラスト＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜コントラスト＞が表示されます。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 50% で全ての色階調を表示します。
- 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。
- コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
  - ブライトネスが 100% でも画面が暗いと感じたとき。（コントラストを 50% 以上に設定します。）
  - ブライトネスが 0% でも画面が明るいと感じたとき。（コントラストを 50% 以下に設定します。）

● 色温度を調整する＜色温度＞

色温度を調整します。
通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K:Kelvin（ケルビン）という単位で表します。
炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

オフ、5000K、6500K、9300K

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜カラー＞で＜色温度＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜色温度＞が表示されます。
3. ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- ＜ゲイン＞でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する＜ゲイン＞」（P.21）参照）。
- 「オフ」でパネル本来の色（ゲインの値は RGB 各 100%）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● ゲインを調整する＜ゲイン＞

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0 ～ 100%

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜カラー＞で＜ゲイン＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜ゲイン＞が表示されます。
3. 赤、緑、青それぞれの値を ◀ または ▶ で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、全ての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

第 3 章　モニターの設定をする

3 - 1. 音量を調整する＜音量＞

スピーカーの音量を調整することができます。

設定範囲

0 ～ 20

設定方法

1. VOLUME を押します。
   音量調整画面が表示されます。
2. ◄ または ► で設定します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。

3 - 2. 調整メニューの位置を変更する＜メニューポジション＞

調整メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 調整メニューの＜その他＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜その他＞で＜メニューポジション＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜メニューポジション＞が表示されます。
3. ◄ または ► で位置を移動します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3 - 3. 操作ボタンをロックする

調整 / 設定した状態を変更できないようにします。

● 調整メニューでの調整 / 設定をロックする

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. SIGNAL を押しながら ⏻ を押してモニターの電源を入れます。
   手順 1、2 を繰り返すとロック / ロック解除が切り替わります。

● すべての操作をロックする

設定方法

1. 画面表示中に を押しながら ⏻ を 5 秒間押します。
   この操作を繰り返すとロック / ロック解除が切り替わります。

3 - 4. EIZO ロゴ表示を設定する

電源投入時の、EIZO ロゴの表示 / 非表示を切り替えます。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. ENTER を押しながら ⏻ を押してモニターの電源を入れます。
   手順 1、2 を繰り返すと表示 / 非表示が切り替わります。

3 - 5. 表示言語を設定する＜言語選択＞

調整メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン語 / 中国語（簡体）/ 中国語（繁体）/ 日本語

設定方法

1. 調整メニューの＜言語選択＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜言語選択＞が表示されます。
2. ◄ または ► で言語を選択します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。

3 - 6. DDC/CI 通信の有効 / 無効を設定する

DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替えます（「7 - 4. 用語集」（P.39）参照）。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. VOLUME を押しながら ⏻ を押してモニターの電源を入れます。
   手順 1、2 を繰り返すと有効 / 無効が切り替わります。

参考

- DDC/CI の有効 / 無効の状態は、＜インフォメーション＞で確認することができます。

3 - 7. 初期設定に戻す＜リセット＞

リセットには、カラー調整のみを初期設定に戻すカラーリセットと、全ての設定内容を初期設定に戻すオールリセットの 2 種類があります。

注意点

- リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

- 初期値については、「主な初期設定値」（P.37）を参照してください。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの＜カラー＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜カラー＞で＜リセット＞を選択し、ENTER を押します。
3. ◄ または ► で「リセット」を選択します。
4. ENTER を押します。

   カラー調整値が初期設定になります。

● 全ての設定内容をリセットする

全ての設定内容を初期設定に戻します。

設定方法

1. 調整メニューの＜その他＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜その他＞で＜リセット＞を選択し、ENTER を押します。
3. ◄ または ► で「リセット」を選択します。
4. ENTER を押します。

   全ての設定内容が初期設定になります。

第 4 章　省電力機能について

4 - 1. 省電力モードについて

省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

省電力の流れ

アナログ信号入力の場合

「VESA DPM」に準拠しています。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙

デジタル信号入力の場合

「DVI DMPM」に準拠しています。
コンピュータの設定に連動し 5 秒後に省電力モードに入ります。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

4 - 2. 電源ランプの表示を設定する＜電源ランプ＞

画面表示時の電源ランプ（青）の点灯 / 消灯の切り替えができます。

設定方法

1. 調整メニューの＜その他＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜その他＞で＜電源ランプ＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜電源ランプ＞が表示されます。
3. ◄ または ► で「有効」または「無効」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

4 - 3. モニターの自動明るさ調整の設定をする「Auto EcoView」

Auto EcoView（オートエコビュー）を「オン」にするとモニター下部のセンサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

- Auto EcoView 機能を使用する場合はセンサーをふさがないように注意してください。

設定方法

1. を押します。
   「EcoView」メニューが表示されます。
2. ◄または►で「オン」または「オフ」を選択します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- Auto EcoViewの自動調整の範囲は、調整メニューの＜ブライトネス＞を調整すると、連動して変更されます。

4 - 4. インジケータを表示する「EcoView Index」

モニターの輝度に応じた省電力の度合いと、電力削減量、CO2 削減量を示すインジケータを表示します。インジケータが右方向に点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。

表示方法

1. を押します。
   「EcoView」メニューが表示されます。

参考

- 電力削減量：ブライトネスの調整値に応じた、バックライト消費電力の低減量です。
- CO2 削減量：電力削減量から換算した、モニターを 1 時間使用した場合に削減できる CO2 排出量の目安です。

※ 数値は「特定排出者の事業活動に伴う温室効果ガスの排出量の算定に関する省令（平成１８年経済産業省・環境省令第３号）に定めるデフォルト値（0.000555t-CO2/kWh）」を元に算出しており、国、年度などによって変わる可能性があります。

4 - 5. モニターの自動電源切断機能の設定をする＜オフタイマー＞

モニターの省電力モードが一定時間続いたときに、モニターの電源を自動的に切る / 切らないの切り替えができます。

設定範囲

無効、有効（0、1、2、3、5、10、15、20、25、30、45min、1 ～ 5h）

設定方法

1. 調整メニューの＜その他＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜その他＞で＜オフタイマー＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜オフタイマー＞ が表示されます。
3. ◀ または ▶ で「有効」または「無効」を選択します。
   「有効」を選択した場合は、◀ または ▶ でモニターの電源が切れるまでの時間を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

第 5 章　接続する

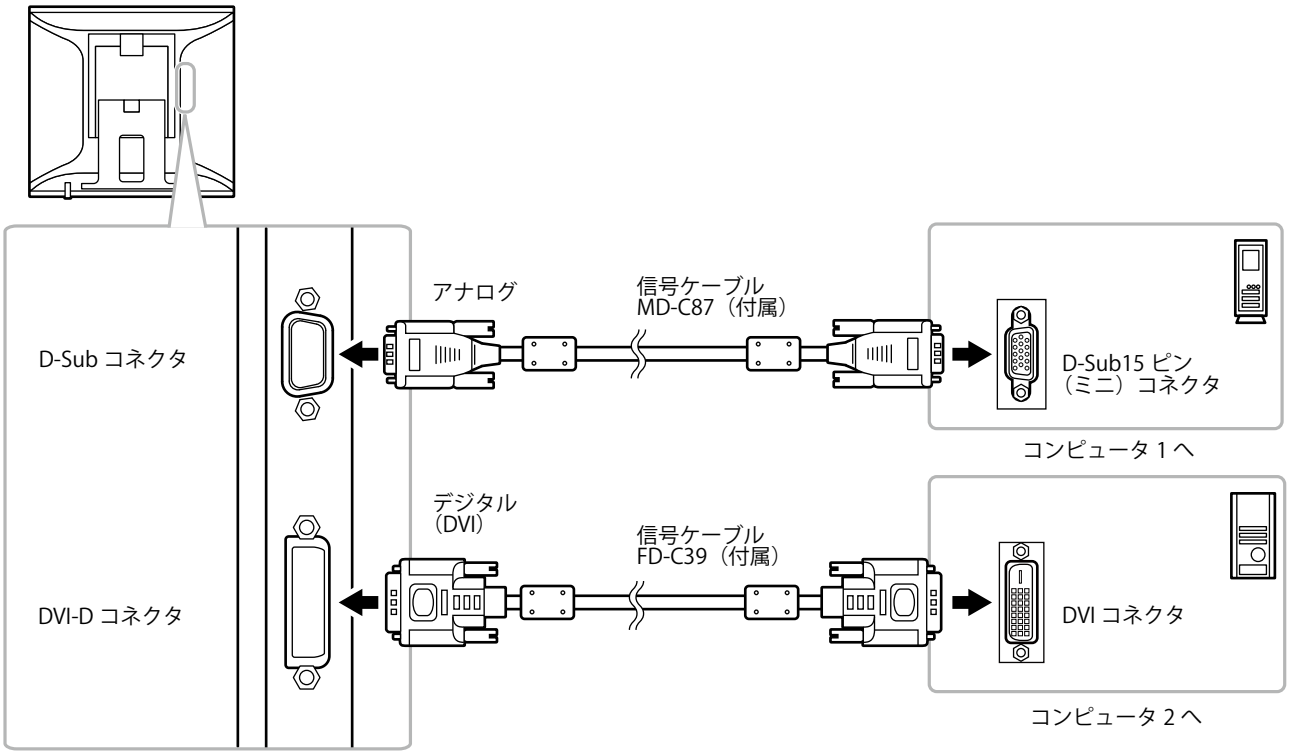
5 - 1. 複数のコンピュータを接続する

この製品は、複数のコンピュータを接続し、切り替えて表示することができます。

注意点

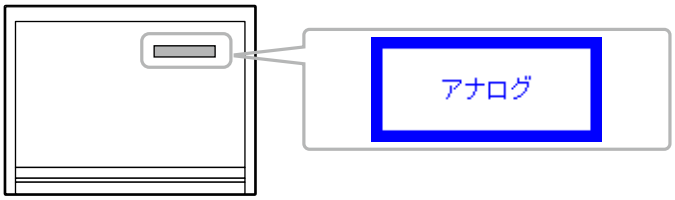
- タッチパネルモニターは、1 台のコンピュータでの使用を前提としています。複数のコンピュータと接続する場合は、USB ケーブル（MD-C93）をタッチ操作するコンピュータ（1 台のみ）に接続してください。
- Dual Link ケーブルは使用しないでください。

接続例



● 入力信号を切り替える

SIGNAL を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。
なお、信号を切り替えた時には、現在表示されている信号の種類（アナログまたはデジタル）が画面右上に 3 秒間表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する＜入力信号＞

設定	機能
オート	コンピュータ信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。コンピュータの電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に他の信号を表示します。
マニュアル	表示中のコンピュータの信号のみを検知します。操作ボタンのSIGNALで表示させたい入力信号を選択してください。

参考

- 「オート」が選択されている場合は、全てのコンピュータが省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

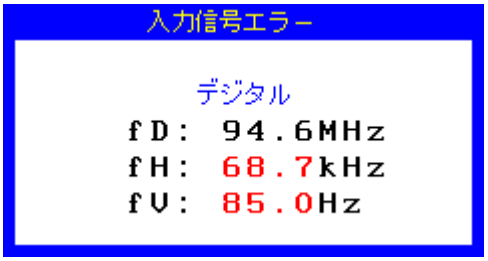
設定方法

1. 調整メニューの＜ その他 ＞を選択し、ENTER を押します。
2. ＜その他 ＞で＜入力信号＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜入力信号＞ が表示されます。
3. ◀ または ▶ で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

第 6 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店または EIZO サポートにご相談ください。

画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない • 電源ランプが点灯しない	• 電源コードは正しく接続されていますか。 • ⏻ を押してください。
• 電源ランプが点灯：青色	• 調整メニューの＜ブライトネス＞、＜コントラスト＞、＜ゲイン＞の各調整値を上げてみてください（「詳細な調整をする」（P.19）参照）。
• 電源ランプが点灯：橙色	• SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。 • マウス、キーボードを操作してみてください。 • コンピュータの電源は入っていますか。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
• 信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	• コンピュータによっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 • コンピュータの電源は入っていますか。 • 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 • SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。
• 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。（範囲外の周波数は赤色で表示されます。） 例：  fD：ドットクロック （デジタル信号入力時のみ表示されます） fH：水平走査周波数 fV：垂直走査周波数	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2 - 1. 表示解像度」（P.13）参照）。 • コンピュータを再起動してみてください。 • グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください

画面に関する症状（デジタル・アナログ共通）

症状	原因と対処方法
3. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	• 調整メニューの<ブライトネス>、<コントラスト>を調整してください。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZO サポートにご相談ください。） • Auto EcoView（オートエコビュー）をオンにしてみてください。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
4. 文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2 - 1. 表示解像度」（P.13）参照）。 • 調整メニューの<スムージング>で調整してみてください（「文字や線のぼやけを直す<スムージング>」（P.18）参照）。
5. 残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
6. 画面に緑 、赤 、青 、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
7. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押した跡が消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
8. 画面にノイズが現れる	• HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
9. 画面が白っぽい、黒っぽい	• 調整メニューの<コントラスト>で調整してみてください（「コントラストを調整する<コントラスト>」（P.20）参照）。

画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
10. 画像がずれている	• 調整メニューの<ポジション>で画像の位置を合わせてください（「表示位置のずれを直す<水平ポジション><垂直ポジション>」（P.17）参照）。 • グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
11. 画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている	• 調整メニューの<クロック>で調整してみてください（「縦縞を消す<クロック>」（P.16）参照）。
12. 画面全体がちらつく、にじむように見える	• 調整メニューの<フェーズ>で調整してみてください（「ちらつきやにじみをとる<フェーズ>」（P.17）参照）。

その他の症状

症状	原因と対処方法
13. 調整メニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3 - 3. 操作ボタンをロックする」（P.22）参照）。
14. 全ての操作ボタンが効かない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3 - 3. 操作ボタンをロックする」（P.22）参照）。
15. 自動調整機能が動作しない	• 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 • この機能は Windows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 • 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
16. 音声が出ない	• ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。 • 音量が「0」になっていませんか。 • コンピュータおよび音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。

タッチパネルに関する症状

症状	原因と対処方法
17. タッチ操作が効かない	• タッチパネルモニターとして使用する場合は、タッチパネルドライバをインストールする必要があります。CD-ROM 内のインストールガイドに従ってドライバをインストールしましたか。 • モニターとコンピュータが USB ケーブルで接続されていることを確認してください。
18. タッチ音が鳴らない	• この製品はタッチ音の出力に対応していません。
19. カーソル位置がずれる	• キャリブレーションユーティリティでキャリブレーションをおこなってください。
20. カーソルが不規則に動く / カーソルが飛ぶ	• パネル面およびパネルの縁が汚れている場合はきれいにふき取ってください。 • モニターの設置環境を確認してください。次の環境では正しく動作しない場合があります。 - 直射日光などの強い光が直接または間接的にパネル面に当たっていませんか。 - モニターの周囲にリモコンなどの赤外線を出す機器がありませんか。 - 複数台のモニターを近接して設置していませんか。 • タッチ点以外にパネル面に触れていませんか。 • タッチ操作は、指、付属のタッチペン、またはパネル面を傷つけず、かつ光を反射しない物を使用してください。 次のような物を使用した場合、正しく動作しない場合があります。 - 手袋など、タッチした際に触れた面の形状が変化する物 - 鏡面反射する物 - アクリルなどの透明な物 - 先の細い物 • アーム (または他のスタンド) にこの製品を取り付けて使用する場合は、横表示で使用してください。縦表示で使用すると、正しく動作しない場合があります。（この製品は縦表示には対応していません。） • この製品は 2 点までのマルチタッチに対応しています。画面上部両隅の 2 つのセンサーでタッチ位置を検出するため、タッチした 2 点の位置によっては正確に認識されない場合があります。

注意点

- タッチパネルドライバ / キャリブレーションユーティリティの動作条件やインストール方法、使用方法については、CD-ROM 内のインストールガイドを参照してください。
  最新のソフトウェアおよびインストールガイドは、当社の Web サイトからダウンロードできます。
  http://www.eizo.co.jp

第 7 章　ご参考に

7 - 1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものを選択してください。取り付けには本体部分とスタンドを固定しているねじをご使用ください。
  - 取付部のネジ穴間隔：100mm × 100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上 65°下 45°（横表示時）
- モニターを縦方向に回転させないでください。
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。

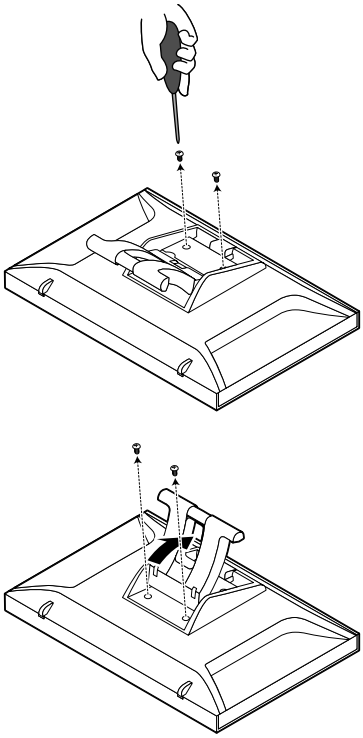
取付方法

1. パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

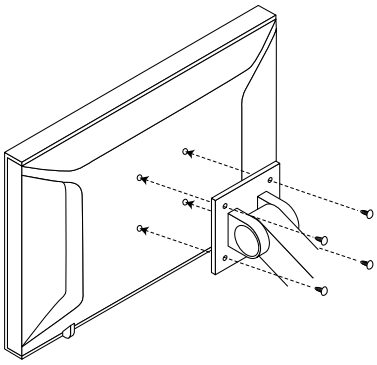
別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ 4 箇所を取り外します。

LaidBack Stand（レイドバックスタンド）例



3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。



7 - 2. モニター情報を表示する＜インフォメーション＞

入力信号、解像度、製品名などを表示します。

インフォメーション 1/3：入力信号、解像度、水平・垂直走査周波数

インフォメーション 2/3：DDC/CI 有効 / 無効

インフォメーション 3/3：製品名、製造番号、使用時間

設定方法

1. 調整メニューの＜インフォメーション＞を選択し、ENTER を押します。
   ＜インフォメーション＞が表示されます。
2. 続けて ENTER を押して、設定状況などを確認します。

注意点

- 工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

7 - 3. 仕様

液晶パネル	サイズ	43cm（17.0）型　カラー TFT
	視野角	左右 178°、上下 178°（CR ≧ 10）
	ドットピッチ	0.264mm
	応答速度	黒→白→黒：約 25ms
水平走査周波数	アナログ	24.8 ～ 80kHz
	デジタル	31 ～ 64kHz
垂直走査周波数	アナログ	50 ～ 75Hz（ノンインターレース）
	デジタル	59 ～ 61Hz（ノンインターレース） （VGA TEXT 時：69 ～ 71Hz）
解像度		1280 ドット× 1024 ライン
ドットクロック（最大）		135.0MHz
最大表示色		約 1677 万色
表示サイズ（水平×垂直）		337.92mm × 270.336mm
タッチパネル※1	表面処理	アンチグレア
	表面硬度	5.5Mohs
	通信手段	USB 転送
	検出方式	赤外線光学イメージング方式 *Windows 7 の Windows タッチ機能（マルチタッチ ※2）対応
電源		AC100V ± 10%、50/60Hz、0.6A
消費電力	画面表示時	34W 以下（USB 機器接続時、スピーカー動作時） 29W 以下（USB 機器非接続時、スピーカー非動作時）
	省電力モード時	1.2W 以下　（D-Sub 1 系統入力時、ステレオミニジャックケーブル非接続時、USB 機器接続時、EIZO EcoView NET 無効時） 0.8W 以下　（D-Sub 1 系統入力時、ステレオミニジャックケーブル非接続時、USB 機器非接続時、EIZO EcoView NET 無効時）
	電源オフ時	0.6W 以下　（EIZO EcoView NET 無効時）
信号入力コネクタ		D-Sub15 ピン（ミニ）
		DVI-D コネクタ（HDCP 対応）
アナログ信号　入力同期信号		セパレート、TTL、正 / 負極性
アナログ信号　入力映像信号		アナログ、正極性（0.7Vp-p/75 Ω）
デジタル信号　伝送方式		TMDS（Single Link）
ビデオ信号メモリー（最大）		D-Sub 入力　26 種
音声出力		スピーカー出力：0.5W+0.5W（8 Ω、THD+N ≦ 10%）
ライン入力		入力インピーダンス：39k Ω（typ.） 入力レベル：2.0Vrms（最大）
プラグ＆プレイ機能		VESA DDC 2B/EDID structure 1.3
寸法（幅）×（高さ）×（奥行き）	本体（LaidBack Stand）	392mm × 199 ～ 366mm × 191 ～ 360mm
	本体（チルトスタンド）	392mm × 416mm × 157mm
	本体（スタンドなし）	392mm × 357mm × 66.5mm
質量	本体（LaidBack Stand）	約 5.3kg
	本体（チルトスタンド）	約 7.0kg
	本体（スタンドなし）	約 4.5kg
可動範囲	LaidBack Stand （レイドバックスタンド）	チルト角度：15°/25°/35°/45°/55°/65°
	チルトスタンド	チルト角度：上 30°下 0°

※1 対応 OS は CD-ROM 内のインストールガイドを参照してください。
※2 この製品は 2 点までのマルチタッチに対応しています。

環境条件	温度	動作温度範囲：0℃～ 35℃ 輸送および保存温度範囲：-20℃～ 60℃
	湿度	動作湿度範囲：20% ～ 80% R.H.（非結露状態） 輸送および保存湿度範囲：10% ～ 90% R.H.（非結露状態）
	気圧	動作気圧範囲：700hPa ～ 1060hPa 輸送および保存気圧範囲：200hPa ～ 1060hPa

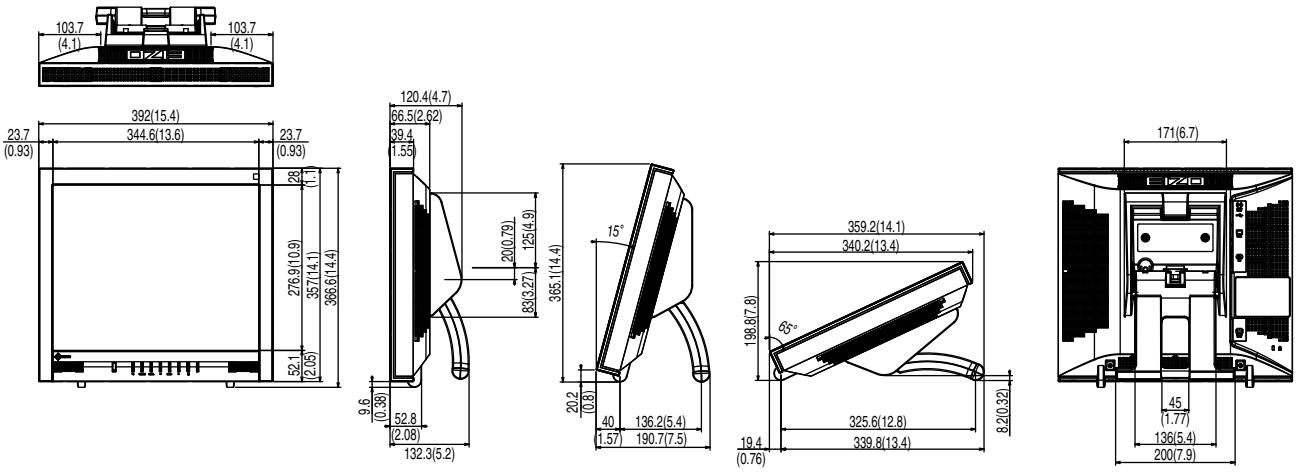
主な初期設定値

	LaidBack Stand （レイドバックスタンド）	チルトスタンド
Auto EcoView（オートエコビュー）	オン	オフ
スムージング	3	
FineContrast（ファインコントラスト）モード	Custom	
入力信号	オート	
オフタイマー	無効	
言語選択	日本語	

外観寸法

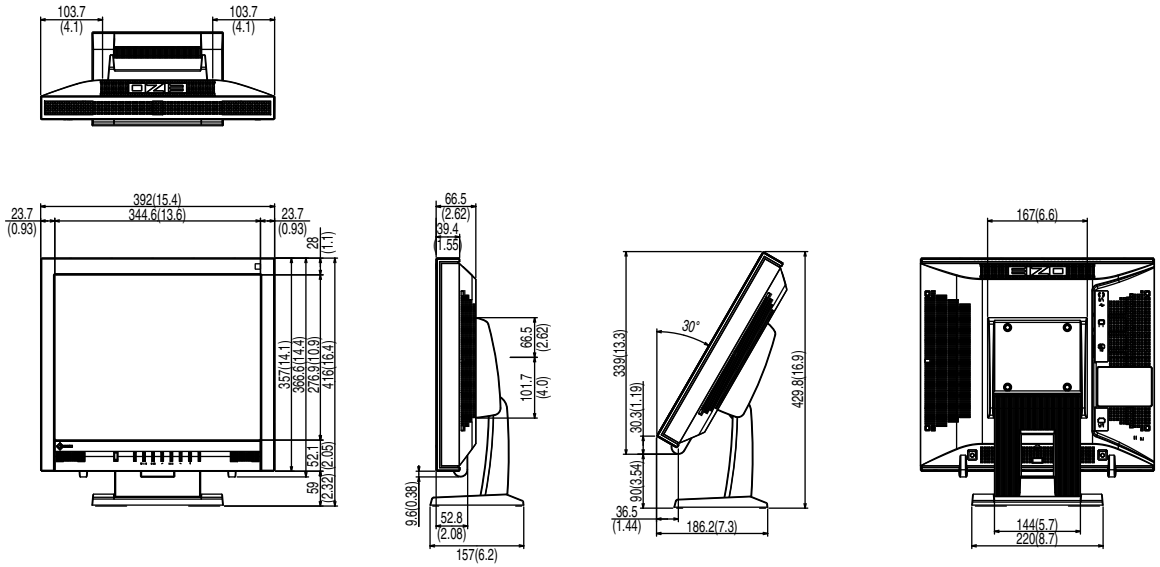
- LaidBack Stand（レイドバックスタンド）

単位：mm（インチ）



- チルトスタンド

単位：mm（インチ）



オプション品

クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」

オプション品に関する最新情報は、当社の Web サイトを参照してください。

http://www.eizo.co.jp

7 - 4. 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：昼光色と呼ばれる白色
9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横 1280 個、縦 1024 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1280 × 1024 の解像度であれば、画像は画面全体（1 対 1）に表示されます。

クロック

アナログ信号入力方式のモニターにおいて、アナログ信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示される全ての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをお勧めします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、全ての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをお勧めします。

DDC/CI（Display Data Channel / Command Interface）

VESA によって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ信号入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。
DVI コネクタや HDMI コネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。
出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

sRGB（Standard RGB）

周辺機器間（モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPM（Video Electronics Standards Association - Display Power Management）

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPM はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

7-5. プリセットタイミング

工場出荷時に設定されているアナログ信号のタイミングは次のとおりです。

注意点

- 接続されるコンピュータの種類により表示位置などがずれ、調整メニューで画面の調整が必要になる場合があります。
- 一覧表に記載されている以外の信号を入力した場合は、調整メニューで画面の調整をおこなってください。ただし、調整をおこなっても画面を正しく表示できない場合があります。
- インターレースの信号は、調整メニューで調整をおこなっても画面を正しく表示することができません。

解像度	対応信号	周波数			極　性	
		ドットクロック：MHz	水平：kHz	垂直：Hz	水平	垂直
640 × 480	VGA	25.18	31.47	59.94	負	負
640 × 480	VESA	31.50	37.86	72.81	負	負
640 × 480	VESA	31.50	37.50	75.00	負	負
720 × 400	VGA TEXT	28.32	31.47	70.09	負	正
800 × 600	VESA	36.00	35.16	56.25	正	正
800 × 600	VESA	40.00	37.88	60.32	正	正
800 × 600	VESA	50.00	48.08	72.19	正	正
800 × 600	VESA	49.50	46.88	75.00	正	正
1024 × 768	VESA	65.00	48.36	60.00	負	負
1024 × 768	VESA	75.00	56.48	70.07	負	負
1024 × 768	VESA	78.75	60.02	75.03	正	正
1152 × 864	VESA	108.00	67.50	75.00	正	正
1280 × 960	VESA	108.00	60.00	60.00	正	正
1280 × 1024	VESA	108.00	63.98	60.02	正	正
1280 × 1024	VESA	135.00	79.98	75.03	正	正

付録

商標

VESA は Video Electronics Standards Association の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows、Windows Vista、Windows Media、Xbox 360 は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Mac、Macintosh、iMac、eMac、Mac OS、MacBook、PowerBook、ColorSync、QuickTime、iBook は Apple Inc. の登録商標です。
Adobe、Adobe AIR、Acrobat、Photoshop は Adobe Systems Incorporated(アドビ　システムズ社) の米国およびその他の国における登録商標です。
PowerPC は International Business Machines Corporation の登録商標です。
Pentium は Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
AMD Athlon、AMD Opteron は Advanced Micro Devices, Inc. の商標です。
GRACoL、IDEAlliance は International Digital Enterprise Alliance の登録商標です。
ColorVision、ColorVision Spyder2 は DataColor Holding AG の米国における登録商標です。
Spyder3 は DataColor Holding AG の商標です。
Eye-One、ColorMunki、X-Rite は X-Rite Incorporated の米国および／またはその他の国における登録商標または商標です。
TouchWare は 3M Touch Systems, Inc. の商標です。
NextWindow は NextWindow Ltd. の商標です。
RealPlayer は RealNetworks, Inc. の登録商標です。
NEC は日本電気株式会社の登録商標です。PC-9801、PC-9821 は日本電気株式会社の商標です。
プレイステーション、PlayStation、PSP、PS3 は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
Japan Color、ジャパンカラーは社団法人日本印刷産業機械工業会および社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。
JMPA カラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。
ENERGY STAR は米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
EIZO、EIZO ロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiForce、RadiCS、RadiNET、ScreenManager は EIZO 株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
C@T-one、FlexView は EIZO 株式会社の日本登録商標です。
ColorNavigator、EIZO EasyPIX、EcoView NET、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor Pro、Raptor は EIZO 株式会社の商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

VCCI

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。
また、製品の付属品 (ケーブル含む) や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCI の技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

医療規格

当製品を用いる装置を設計・使用する場合は、IEC60601-1-1 の規格要求に従ってください。

その他規格

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
本装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

中国 RoHS

关于电子信息产品污染控制标识

本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅 （Pb）	汞 （Hg）	镉 （Cd）	六价铬 （Cr（VI））	多溴联苯 （PBB）	多溴二苯醚 （PBDE）
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	×	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
（企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、EIZO サポートにお問い合わせください。EIZO サポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- 本製品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 当社では、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 7 年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZO サポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定に従い、EIZO サポートにて修理または交換をさせていただきます。お買い求めの販売店、または EIZO サポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、または EIZO サポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- 製品名・製造番号
  （製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている 8 桁の番号です。
  例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード /OS・システムのバージョン / 表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収・リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。
当社製品は、業界団体「パソコン 3R 推進協会」が回収させていただきます。
回収を希望されるお客様は当社の Web サイトよりお申し込みください。
（http://www.eizo.co.jp）

※ 本製品は業務用途を意図した製品ですので、ご使用後廃棄される場合は有償となります。

第 5 版　2013 年 4 月

03V23388E2
(U.M-T1751)

Copyright © 2010-2013 EIZO株式会社 All rights reserved.